



BOOM! AUDIO STAGE II フェアリングロアスピーカーキット

概略

取り付けは販売店に依頼するようお願いいたします。

キット番号

76000353A

モデル

モデルの備品に関する情報は、最新の純正P&Aカタログをご参照ください。または、最寄りのハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店にお問い合わせください。

このキットは、ツイン冷却モデルには取り付けられません。

取り付け要件

FLHXモデルは、ハーレーダビッドソンベントフェアリングロアキット(部品番号57100258、未塗装)を事前にまたは同時に取り付ける必要があります。

全モデルで、フェアリングロアスピーカーボックスキット(部品番号57100233、未塗装)を別途購入する必要があります。

これらのアイテムと色が一致するものについては、最新の純正P&Aカタログをご参照ください。または、最寄りのハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店にお問い合わせください。

このキットを正しく取り付けるには、Loctite® 243 Medium Strength Threadlocker and Sealant (Blue) (Loctite 243中強度スレッドロッカーおよびシーラント(青)) (部品番号99642-97)が必要です。

注記

ステージIとステージIIのスピーカーを、同じ車両に混在させないでください。

このスピーカーは、2014年以降のハーレーダビッドソンオーディオシステム専用です。2006～2013年のハーレーダビッドソンオーディオシステムでこのスピーカーを使うと、スピーカーは回復できない損傷を受けます。これらのスピーカーを2005年以前のハーレーダビッドソンオーディオシステムに使用した場合、システムは回復できない損傷を受けます。

注記

オーディオシステムを作動する前に、ハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店でラジオのEQを更新する必要があります。先にオーディオシステムを動かすと、すぐにスピーカーが破損してしまいます。(00645d)

Digital Technician® II診断ツールによるRadio EQの更新については、次の点に注意してください:

- ・ スピーカーを取り付ける前に実施するよう推奨します。
- ・ オーディオシステムを作動させる前に必要です。
- ・ ハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店でのみお買い求めいただけます。

注記

- ・ スピーカーはアンプにつないで使う必要があります。アンプ(部品番号76000277A)およびフェアリングロアスピーカー取り付けキット(部品番号 76000586)を事前に取り付ける必要があります。アンプは、右側のサドルバッグ内側に取り付けられます。

▲警告

ライダーおよびパッセンジャーの安全を守るため、キットは正しく装着してください。サービスマニュアルを参照しながら、適切な手順に従ってください。自分で作業を行うことが難しい場合、または適切な工具を持っていない場合は、最寄りのハーレーダビッドソン正規販売網店に取り付けを依頼してください。本キットを正しく取り付けないと死亡したり重傷を負うおそれがあります。(00333b)

注記

この取り扱い説明書は、サービスマニュアルの記載情報の参照を必要としています。取り付け時には、車両の年/モデルのサービスマニュアルが必要です。マニュアルはハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店で入手できます。

電氣的過負荷

▲警告

電気システムアクセサリを取り付ける場合、影響を受ける回路を保護するヒューズまたは回路ブレーカーの最大アンペア数を超えないよう注意してください。最大アンペア数を超えると、電氣的な不具合が生じ、死亡したり重傷を負う場合があります。(00310a)

注記

電気アクセサリを装着し過ぎると、車両の充電システムに過剰な負荷がかかる可能性があります。複数の電気システムアクセサリが同時に作動し、それらの消費電流量が車両の充電システムで供給できる電流量の総量を超えた場合、バッテリーが放電し、車両の電気システムに損傷を与えるおそれがあります。(00211d)

このキットを購入すると、アドバンスドオーディオシステムと使用される、特別に開発されたサウンドイコライザーソフトウェアをご利用いただけます。この独自のイコライザーはBoom!オーディオフェアリングロアスピーカーの性能とサウンドレスポンスを最大限に引き出すように設計されたものです。このキットをハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店にて取り付けていない場合、この特別イコライザーソフトウェアは、デジタルテクニシャンIIを通してどの取扱店でも無料で使用できます。アップグレードの手続きには販売店のサービス料金が適用される場合があります。

このアンプは、電気システムから最大で8Aの追加電流を必要とします。

キット内容

図12および表1を参照。

準備

▲警告

誤ってエンジンを始動すると、死亡事故や重大な人身事故を引き起こすおそれがあるため、メインヒューズを外して作業を開始してください。(00251b)

注記

- ・スマートサイレン装備車：セキュリティフオブがある状態で、イグニッションスイッチをオンにします。サービスマニュアルを参照してください。システムが解除された後、イグニッションスイッチをOFFにします。直ちにメインヒューズを取り外します。
- ・スマートサイレン非装備車：サービスマニュアルを参照してください。メインヒューズを取り外します。

注記

次の一般的ステップに関する詳細情報は、該当するサービスマニュアルを参照してください。

1. フェアリングロア装備モデル：ロアフェアリングを取り外します。
2. .全モデル：アンプ(部品番号76000277A)およびフェアリングロアスピーカー取り付けキット(部品番号76000586)をそのキットの手順に従って右のサドルバッグ内に取り付けます。

ロアフェアリングの組み立ておよび取り付け

注記

片側へのロアフェアリングの組み立ておよび取り付けが完了してから、もう片側の取り付けを行ってください。

1. 図1を参照してください。片方のフェアリング後方からリアスクリー(1)を取り外します。
2. 図2を参照してください。フロント部からスクリー(3)、ブロックオフパネル(4)およびグローブボックス(2)を取り外します。ベントドアリンケージを外します。
3. 図3を参照してください。グローブボックススクリー3本を取り外します。グローブボックスアッセンブリー(2)を取り外します。
4. 図4を参照してください。スクリー(1)を取り外します。リンケージ(2)を取り外します。新品のエンクロージャーフロントに取り付けます。スクリーを1.3-2 N·m (12-18 in-lbs)のトルク値で締め付けます。
5. 図5を参照してください。ガスケットシールの取り付けのために、スピーカーエンクロージャーとボトムトレイを用意します。50～70%のイソプロピルアルコールと50～30%の蒸留水の混合液できれいします。

注記

組み立てを容易にするため、トレイを取り付けずに、スクリー(図12を参照、アイテム10)を先にエンクロージャーに取り付けます。スクリーを取り外します。

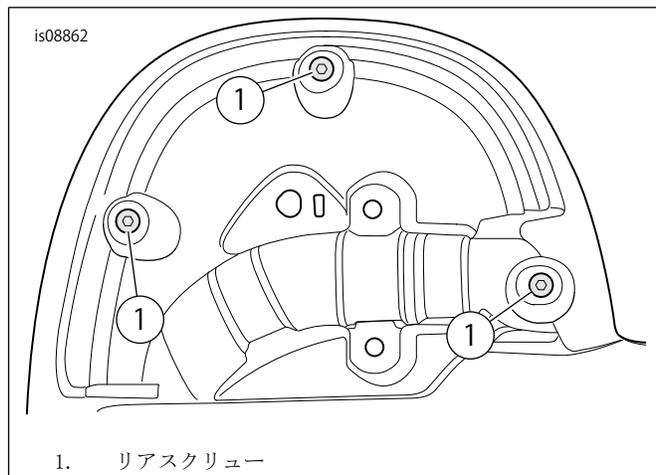


図1。リアスクリー

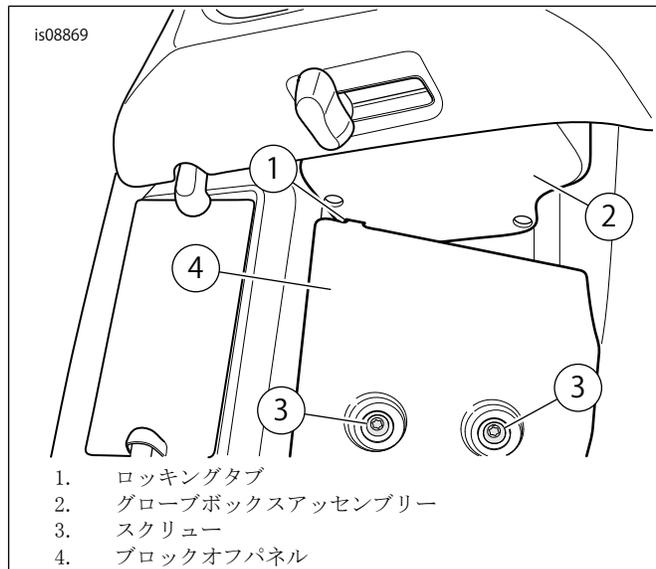


図2。ロッキングタブおよびブロックオフパネル

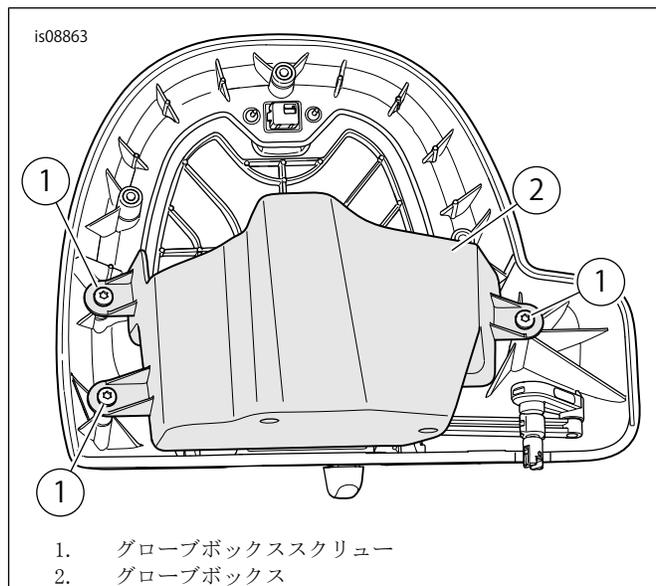


図3。グローブボックススクリー

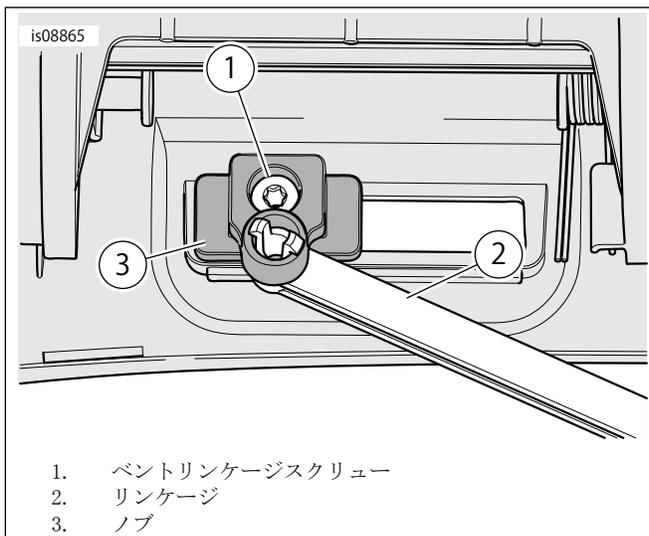


図4。ベントリンケージスクリュー

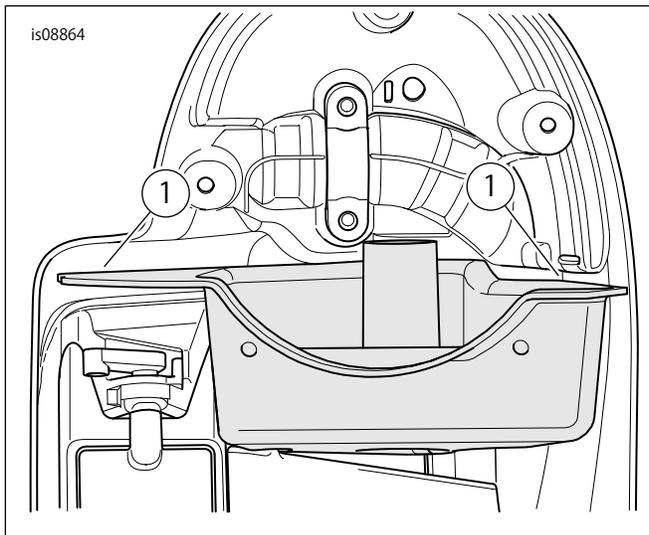


図5。ロアフェアリングのガスケットの合わせ面

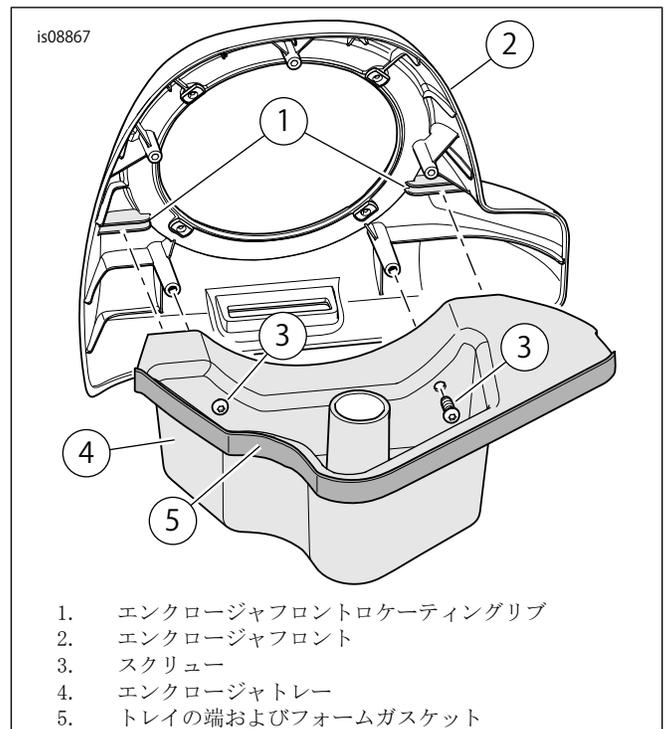


図6。エンクロージャアッセンブリー

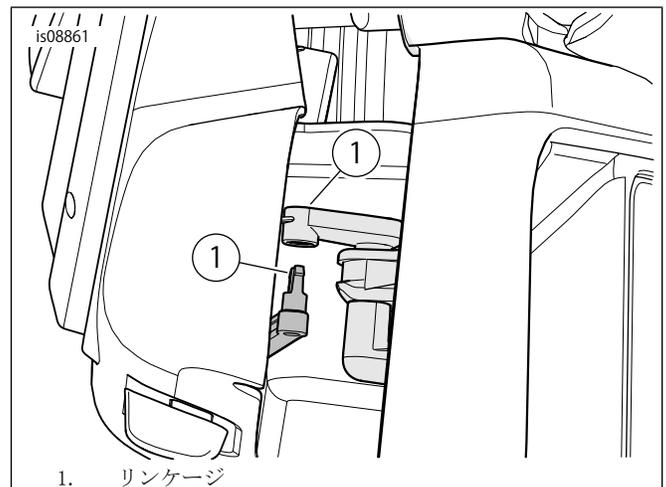
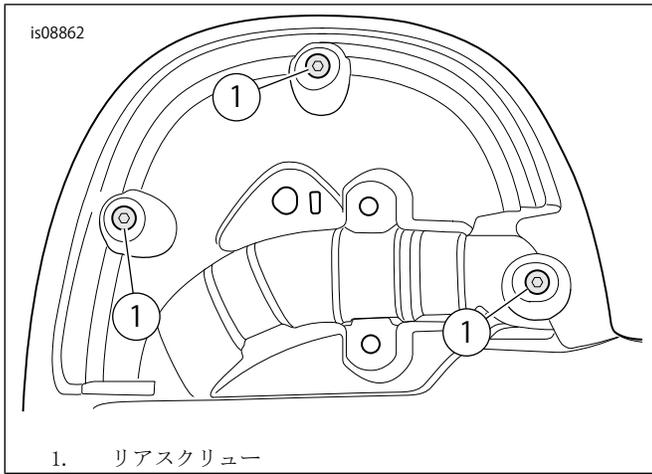


図7。リンケージの接続

6. 図6を参照してください。エンクロージャトレイ(4)をフロントエンクロージャ(2)に組み付けます。セルフタッピングスクリュー(3)2本を取り付けます。フォームガスケット(5)の両面粘着テープの一方の裏紙をはがします。図のようにシールを取り付けます。余分なフォームガスケットシールを切り取り、後で使用できるように保管します。
7. 図7を参照してください。エンクロージャアッセンブリーを配置します。リンケージを接続します。
8. エンクロージャサブアッセンブリーを組み立てる前に、フォームガスケットシールから裏紙をはがします。エンクロージャアッセンブリーを配置します。
9. 図8を参照してください。リアから、セルフタッピングエンクロージャスクリュー(1)3本を取り付けます。スクリューを1.3-2 N·m(12-18 in-lbs)のトルク値で締め付けます。



1. リアスクリュー

図8。リアスクリュー

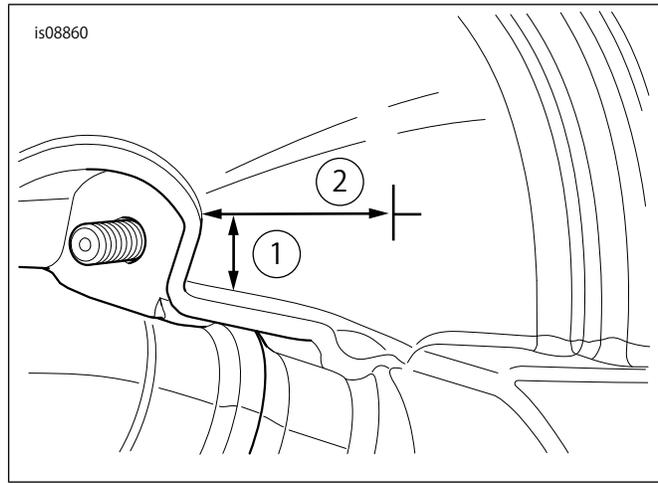
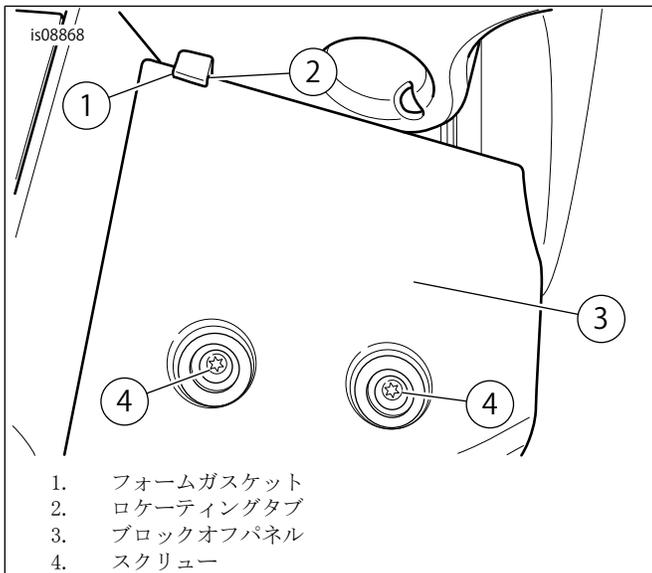


図10。位置に穴あけ



1. フォームガスケット
2. ロケーティングタブ
3. ブロックオフパネル
4. スクリュー

図9。ブロックオフパネルおよびロケーティングタブフォーム

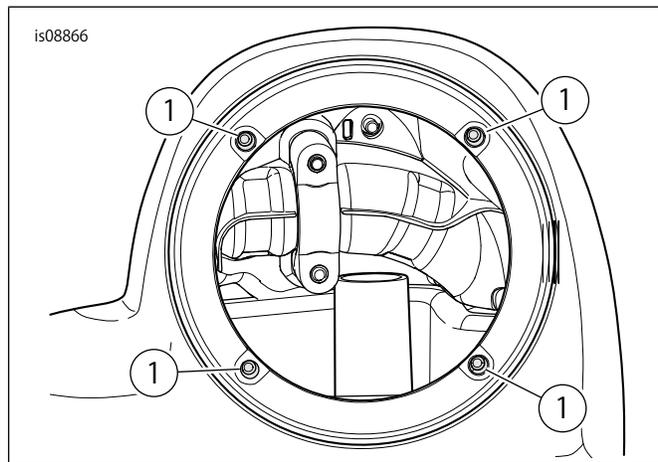


図11。キャプティブナット

10. 図9を参照してください。切り取ったガスケット片(1)を、ブロックオフパネルのロケーティングタブ(2)に折り返します。パネル(3)を取り付けます。Loctite 243 (青)をきれいなネジ山(4)に1滴塗ります。スクリューを取り付けます。7.3-8.4 N・m (65-75 in-lbs)のトルク値で締め付けます。
11. 図10を参照してください。割れたり、塗装が剥がれたりしないよう、グローブボックス後方のドリルで穴をあける場所にマスキングテープを貼ってください。ロアフェアリングキャップ合わせフランジから25 mm (1.0 in)内側と9.5 mm (3/8 in)上を測定します。穴をあける位置をマークします。グローブボックスウォールに25 mm (1.0 in)の穴をあけます。

12. 図11を参照してください。大型開口部の内側からキャプティブナット4本を挿入します。
13. サービスマニュアルを参照してください。ロアフェアリングを取り付けます。まだロアフェアリングキャップを取り付けしないでください。
14. スピーカー配線をロアフェアリングの穴に送ります。
- ・ 水色および水色/黒色配線を右側へ。
 - ・ 水色/オレンジ色および水色/灰色配線を左側へ。
15. 図12を参照してください。スプリットグロメット(12)を分離させます。ハーネスの脚部の周りにグロメットを取り付けます。フェアリング内のドリルであけた穴に取り付けます。
16. ロアフェアリングキャップを取り付けます。
17. 残りのフェアリングでもステップ1~16を繰り返します。
18. ケーブルストラップでワイヤーハーネスを固定します。ワイヤーがステアリングまたはサスペンションの移動を妨げていないか確認します。

注記

フェアリングロアスピーカーは向きが決まっています。左スピーカートリムリングには、上部に「BOOM! AUDIO」

STAGEII」と記載されています。右側には表示がありません。

19. 図12を参照してください。スピーカーエンクロージャーの内側にあるスピーカーワイヤーコネクタを新品のウーファの裏側にあるスピードターミナルに取り付けます。異なるサイズのスピードコンタクトを使用することで正しく組み立てることができます。
20. アンプハーネスの2ウェイオーディオコネクタをミッドレンジおよびツイーターコネクタ(D)に接続します。
21. ツイーター(C)が上から外側に45度になるようにスピーカーアッセンブリー(1)を回します。
22. スピーカーアッセンブリーを、スピーカーエンクロージャーに、キット付属のスクリュー(5)4本で固定します。
 - a. スクリューを締める際には、取り付け穴を通してキャプティブナットを押してしまわないよう注意してください。
 - b. 4本のスクリューを交差するように1.13 N・m (10 in-lbs)のトルク値で交互に締め付けます。
23. ステップ19～22を繰り返し、残りのスピーカーエンクロージャーを取り付けます。

▲警告

ステアリングのスムーズな動きを妨げるものがないことを確認します。ステアリングに干渉があると車両を操作できなくなり、死亡事故や重大な人身事故を引き起こすおそれがあります。(00371a)

1. ハンドルバーを左右のフォークに当たるまで回したときワイヤーまたはハーネス、ラインが引っ張られないよう注意してください。

交換用パーツ

表1. 交換用パーツ

アイテム	詳細(数量)	部品番号
1	スピーカーアッセンブリー、ロアフェアリングポッド(左) (品目2～4を含む) スピーカーアッセンブリー、ロアフェアリングポッド(右) (品目2～4を含む)	76000627 76000626
2	・ スピーカーアッセンブリー、ウーハー	単品販売なし
3	・ スピーカーアッセンブリー、ツイーター/ミッドレンジ	単品販売なし
4	・ スクリュー、フラットヘッド(3)	単品販売なし
5	スクリュー、パンヘッド、TORX、No. 6～32x25.4 mm (1.0 in)長(黒) (8)	10200294
6	キャプティブナット(8)	10100064
7	トレイ、スピーカーエンクロージャー下部(左)	76000368
8	トレイ、スピーカーエンクロージャー下部(右)	76000369
9	ガスケットシール、粘着裏紙付き(2)	25700311
10	スクリュー、TORXパンヘッド、1/4-14x 19 mm (0.75 in)長、セルフタッピング、黒(4)	単品販売なし
11	スクリュー、TORXパンヘッド、No. 10～16x 19 mm (0.75 in)長、セルフタッピング、黒(6)	2995
12	グロメット、ハーネスシール(2)	11410
フェアリングロアスピーカーボックスキット(フェアリングロアスピーカーキットの一部ではありません)。		
A	スピーカーボックスキット(左右のボックスを含む)	
B	フェアリングロア(左側を表記)	
本文中記載品目:		

2. ステアリングが滑らかにストップからストップまで動くか確認してください。

完了

注記

オーディオシステムの損傷を防ぐため、メインヒューズを取り付ける前に、イグニッションおよびオーディオシステムがオフになっていることを確認してください。

注記

オーディオシステムを作動する前に、ハーレーダビッドソンジャパン正規販売網店でラジオのEQを更新する必要があります。先にオーディオシステムを動かすと、すぐにスピーカーが破損してしまいます。(00645d)

1. サービスマニュアルを参照してください。メインヒューズを取り付けます。
2. デジタルテクニシャンIIによるRadio EQの更新は、ハーレーダビッドソン正規販売網店に依頼してください。
3. イグニッションをオンに入れます。エンジンはかけないでください。
4. オーナーズマニュアルの「Boom!ボックスインフォテインメントシステム」セクションを参照。ラジオをオンにします。すべてのスピーカーから音が出て、フロント/リアフェーダー機能が正しく作動しているか確認します。異常がある場合はスピーカーの配線をチェックします。
5. サービスマニュアルを参照してください。アウターフェアリングとウィンドシールドを取り付ける。

注記

バスの反応が高いことにより、好ましくない振動が発生した場合はブロックオフパネルとフェアリングロアの間にフォームを追加してください。

使用時

強い水圧の水がスピーカーグリルに直接当たらないようにしてください。スピーカーが破損する恐れがあります。

表1. 交換用パーツ

アイテム	詳細(数量)	部品番号
C	ツイーター	
D	ミッドレンジおよびツイーターのコネクター	

交換用パーツ

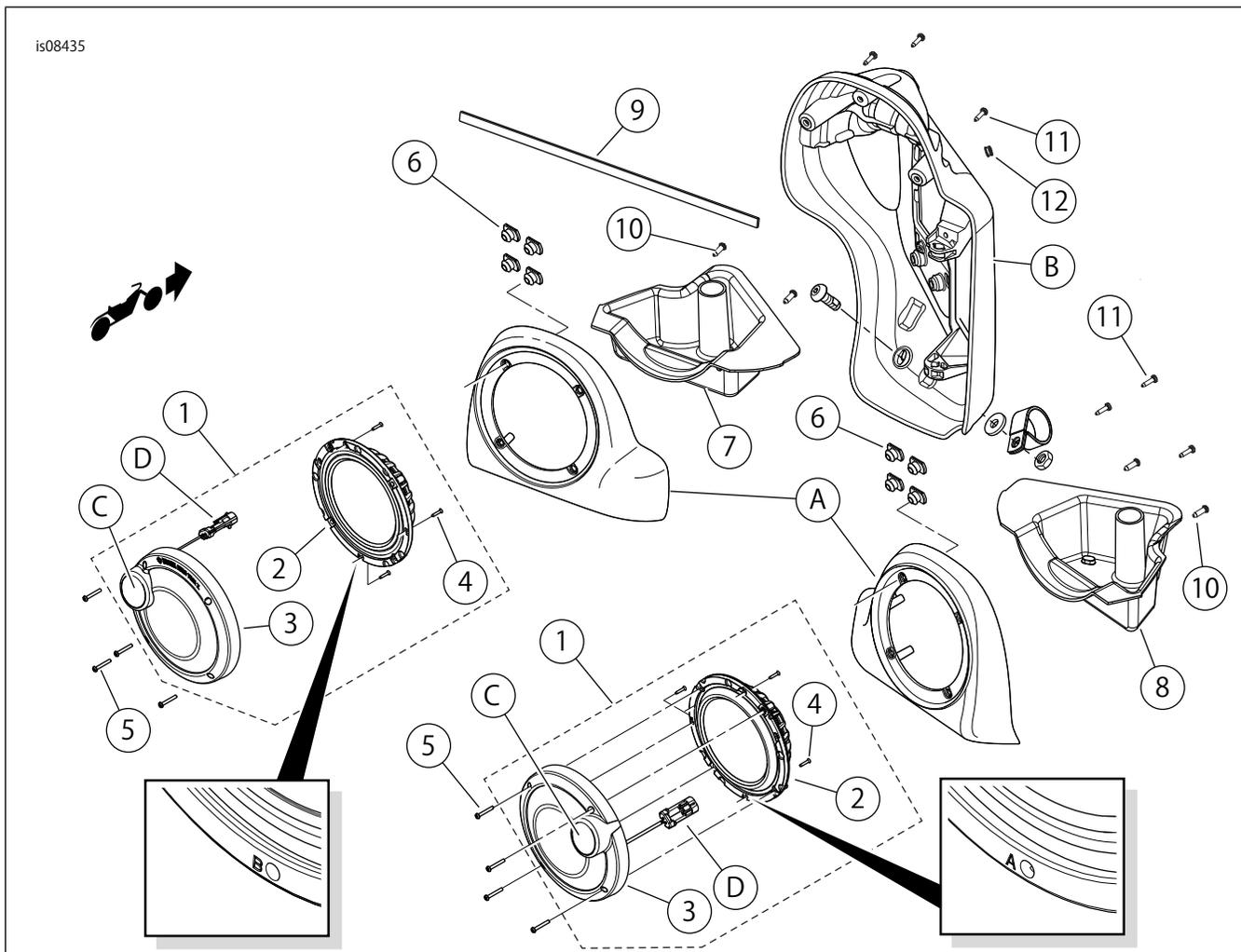


図12. 交換用パーツ、Boom! AudioStage IIフェアリングロアスピーカーキット